

(公財) 中村元東方研究所 / 東方学院

東方だより

令和2年度後期号 (通号第37号)

〒101-0021
東京都千代田区外神田 2-17-2
延寿お茶の水ビル 4階
TEL : 03-3251-4081
FAX : 03-3251-4082
<http://www.toho.or.jp>
<https://www.toho-gakuin.org>

目次

理事長ご挨拶	1頁
評議員よりの言葉	2・3頁
芳名録	4頁
講師・研究会員・研究員の声	5〜7頁
報告とお知らせ	8・9頁
新刊紹介	2・3頁
事務局通信	10頁



あるインドの思想家の話 (その2)

―理事長ご挨拶にかえて―

前田専學理事長



前々号でハリ・プラサッド・シャーストリイの話をしたので、今回はその日本人妻小川八千代について記すことにしたいと思います。

八千代は一八九八(明治三二)年十月十日父小川義春と母志賀の三女として東京市四谷区北伊賀町二番地に生まれました。その頃父は東京市会議員で、中国古典に造詣の深い厳格な儒者であり、可なり伝統的保守的な人であつたらしく、権威主義的な印象を人に与えたようです。八千代自身は大胆不敵なところがありませんが、父が怖かったと言っていたそうです。

母志賀は群馬県藤岡市の医者の子に生まれ、熱心な仏教信者であり、しばしばお坊さんにお経を読んでもらい、毎日お寺参りを欠かしませんでした。三味線の達人であつたばかりではなく、歌うことも上手でした。シャーストリイが日本で最初に本場に自国にいるような安らぎを与えてくれ、この上ない親切心と尊敬をもって扱ってくれたのは彼女であつたと言っていたそうです。彼女は「この先生は人間ではなく神様です」と言っていたそうです。

八千代には二人の兄、二人の姉、一人の弟、三人の妹がいました。彼女は子供の頃、スコットランド人の乳母に育てられ、十二歳のときア

メリカ系ミッシェンスクール桜井女塾(現在の女子学院)に入学し、クリスチャンとなりました。大らかで、大まかで、ものにこだわらない女性であつたそうです。

前述のように、孫文の勧めで上海に上陸したシャーストリイはホテルで流行っていた疥癬にかかり、その上赤痢に感染してしまい、そのことを志賀に手紙で伝えました。それを見た志賀は八千代に上海に行つて看病してあげるようにと言いました。そこで彼女は母親の勧めで、父親には何も言わないで上海に到着しました。当時の日本の女性の置かれた位置や、外国人に対する日本人の感情を考えると、この母親と娘の行動が如何に大胆なものであつたかを推測するのに難くありません。彼女の看病のお陰で彼はすっかりよくなり、二人は結婚しました。一九一八年シャーストリイ三十六歳、八千代二十歳の時でした。

彼は間もなく上海の哈同単科大学で英文学のポストを与えられ、またヨーガセンターを創立して中国人の関心を呼びました。しかし一九二八年夫妻はロンドンに行くことになり、途中日本に立ち寄りました。娘に二度と会うまいと誓っていた父親も大喜びし、袴を着け両刀を差し、親類縁者がすべて集まって祝宴を設け、夫妻を歓迎しました。この機会に父は公に「私はこの男を私の女婿として認める」と宣言したそうです。

夫妻は日本を去り一九二九年六月二十日ロンドンに到着しました。八千代は第二次大戦の折にも日本に帰らず、シャーストリイと共に活躍しました。彼は八千代を遺して七十四年の生涯を閉じましたが、彼女はその後日本に帰らず、一九六五年六十七歳の時、肺癌のために彼の許に逝きました。私の手許には彼女のために一九六五年六月三日に行われた葬儀の葉があります。彼女は今も多くのシャーンティ・サダンの会員の記憶の中に生き続けているのです。

評議員よりの言葉

評議員再任の御挨拶

高橋堯英 評議員



今年度、評議員に再任させて頂いた立正大学の高橋堯英です。学部長就任後二年目になる本年度は、新型コロナ

ウイルス感染症の猛威に見舞われ、教職員一丸となって授業対応は勿論のこと、学生の皆さんの指導や諸学部行事対応など運営に当たって参りました。

五月一日に前期授業が開始となり、「三カ月だけのオンライン授業を」という当初の学長からの要請が、結局、通年でオンライン授業に取り組みねばならなくなりました。必要に迫られ、ZOOMやTeamsといったオンラインソフトに戸惑いながら、なんとか現在に至っています。パソコンではなく、スマホ一辺倒だった学生諸君も、オンライン授業のコツをつかみ、何とか対応しているようです。大学で通常の学修が出来ないことは、確かに、学生諸君にとっては大きなマイナスです。縁あって体育会剣道部の顧問をしています。少

人数の稽古で切磋琢磨してきたものの、予定されていた大会がすべて中止になり、四年生は稽古の成果を発揮できずに卒業せねばならず、大変不憫です。しかし、いろんな問題はあるものの、学生諸君はオンラインを身につけることが出来、また、教員は、オンライン授業の可能性についての「気づき」もあって、その効果的活用についても検討しています。

第三波の大きな影響が顕在化し、今一度、自らを戒める必要が叫ばれています。積尊は、我々凡夫のために「五戒」を説き、自らの判断によって自らを自らが戒めるといふ「戒の精神」を教えてくださいました。また、積尊は「慈悲」の教えを説かれ、自らを他者の立場に立たせるといふ思考により、「総ての生きとし生けるものが幸せになる」世界をつくらうと説かれました。「戒の精神」と、自己を護り他己を護るといふ「慈悲」の教えが、今まさに求められている、そんな自覚をもつて、一日一日を大切に過ごしてゆこうと思っております。何卒、ご指導の程、お願い申し上げます。

たかはし たかひで

昭和30年(1955年)、静岡県生まれ。インド国立デリー大学 St. Stephen's College 卒業。同大学の M.A. (歴史専攻) コースを修了後、同大学文学研究科仏教学専攻にて、M. Phil. コース、Ph. D. コースで学ぶ。Ph. D. (デリー大学)。財団法人東方研究会専任研究員(昭和38年度～平成6年度)を経て立正大学仏教学部に奉職。立正大学学園常任理事・副学長を経て、現在仏教学部長。

新刊案内

ケネス田中他著 『親鸞と私』



親鸞の人間らしさ、親鸞と菩薩思考…。仏教学者の間で「長老格」である研究者5人が、「親鸞と私」というテーマで、それぞれの親鸞への思いを語る。武蔵野大学の生涯学習講座の内容をもとに書籍化。

単行本：176頁 ISBN-13：978-4-903281-48-3
 出版社：武蔵野大学出版会 言語：日本語
 発売日：2020年10月20日 定価：本体2,800円(税別)

コロナ禍の中での

小さな喜び

三木保評議員



令和二年は日本中がコロナに翻弄された年でした。私の周りでも東方学院の講義が中止となったほか、例年楽しみにしていた多くのイベントや会合・会食が中止となって永くステイホームを余儀なくされました。世の中にはコロナ禍による困難に苦しむ人も多いと聞き胸が痛みます。

私は老後の健康維持のため二十年ほど前からウォーキングを続けています。家の近所の散歩のほか、都内や近郊の名所の散歩にもよく出かけました。最近は何となく歩く距離・速さともに落ちてきましたが、以前は東方学院の絵画教室のある阿佐ヶ谷まで二駅分の距離を歩いて通い、東方学院の鎌倉宗教講座が毎月一回開催されていた頃には、鎌倉駅から鶴岡文庫までの古都鎌倉の小路を散策するのも楽しみでした。この時はお陰様で四年間の皆勤賞を頂きました。

コロナ禍の昨今は人込みを避けて、近くの井の頭公園を歩くのが主です。往復一万歩ほどの距離でマスクを着けて歩くのは快適では

ありませんが、それでも沿道の花々や木々の葉に季節の移ろいを感じることが出来ます。池の周りを歩くとカワセミや白鷺の美しい姿を眺められ、林の中では都会では珍しい狸や青大将などの野生動物に遭遇することもあります。犬の散歩をしている人は多いですが、鷹やカメレオンなど珍しい動物を肩に乗せて散歩している人もいます。若いお母さんに手を引かれてよちよち歩きしている幼子の姿には心癒されますし、元気に走り回る子供たちの姿には将来の光明を感じます。

暗い話題の多い昨今ですが、我が家では楽しい話題もありました。鉢植えの月下美人が、七月、八月、十月と三度も各一〇輪ほどの美しい花をつけました。これまで咲かない年も多かっただけに初めての出来事でした。

コロナ禍がいつ収束するのか予断は許せない状況が続いています。感染すると重症化しやすいと言われている高齢者の一人として、コロナ対策にも十分に気を配りつつ、小さな幸せを探しながら前を向いて今の時代を乗り切りたいと願っております。



みき たもつ

昭和18年12月生まれ 東京大学工学部卒
住友化学入社、研究・製造・技術開発部門を担当
同社石油化学業務室長、サーモ社常務取締役等を歴任
退職後に中村元の自宅蔵書の整理に尽力し
3万点余の蔵書目録の作成、講演音源のデジタル化等を行った。

新 刊 案 内

竹村牧男著 『空海の哲学』（講談社現代新書）



密教の伝導者にして、書の達人。庶民のための学校を開設し、満濃池の工事をおこなう社会活動家。

日本文化に大きな影響を与えた空海。その核心は、即身成仏にあった！

曼荼羅思想が指し示す、自己、そして他者とは？

「即身成仏」の四字に籠められた、空海の間人観・世界観とは？

空海思想の今日性を描く決定版！

単行本：328頁

出版社：講談社

発売日：2020年3月18日

ISBN-13：978-4065191347

言語：日本語

定価：本体1,200円（税別）

令和2年度芳名録 (五十音順・敬称略)

本年度も多くの皆様にご支援いただきました。心から御礼を申し上げるとともに、ご芳名を記します。

※令和2年12月25日受領分までを掲載しております。

維持会員

一心寺 石上和敬 宇杉真 小笠原勝治 川崎信定 川崎寿子 川崎大師平間寺 公益財団法人克念社 齋藤敬 株式会社山陰中央新報社 史跡足利学校事務所 清水谷善圭 釈悟震 株式会社春秋社 淳心会(日野紹運) 末廣照純 鈴木一馨 浅草寺 高崎宏子 高橋堯英 高松孝行 中央学術研究所 千綿道人 津田眞一 公益財団法人東洋哲学研究所 トヨタ自動車株式会社 中田直道 成田山新勝寺 日本ヨーガ禅道院 念法眞教金剛寺(桶屋良祐) 羽矢辰夫 比良佳代子 公益財団法人仏教伝道協会 法清寺(奈良修一) 前田專學 前田式子 水野善文 三友健容 学校法人武蔵野大学 薬王院 吉田宏哲 渡邊信之

賛助会員

阿部敦子 栗野芳夫 石井勝彦 石上智康 入井善樹 今西順吉 白井ふじ子 遠藤康 大井玄 太田正孝 大谷光真 小笠原隆元 桂紹隆 菅野博史 北村彰宏 木村清孝 倉田治夫 黒川文字 黒田大雲 桂徳院(山本文溪) 小林正和 小林守 小林和子 小峰啓誉 小峰立丸 小山典勇 金剛院(山田一眞) 公益財団法人在家仏教協会 斎藤明 佐久間秀範 佐久間留理子 櫻井瑞彦 桜井俊彦 佐藤行教 下田勇人 真観寺(中村重継) 新本均 末木文美土 須佐知行 鈴木忠一 関戸堯海 高橋審也 田上太秀 武田浩学 立花ひろ子 田丸淑子 千葉よし子 角田泰隆 鶴谷志磨子 株式会社展勝地 天寧寺(永江雅邦) 洞雲寺 當間哲也 徳田勝洋 中谷信一 長野市南長野仏教会 中村久夫 中村行明 西尾秀生 西岡祖秀 西川高史 西宮寛 日本ヨーガ学会 長谷川恵子 畠中光亨 花岡秀哉 一月正人 平井恭子 福重利夫 福留順子 福原正直 身延別院(藤井教公) 藤井知興 藤田宏達 法恩寺(藤原敏文) 寶幢院(原隆政) 保坂俊司 堀江順司 松浦和也 松原光法 松本知巳 的場裕子 三木保 水谷俊一 宗教法人密蔵院(山口正純) 三友量順 宮元啓一 弥勒密寺(上村正剛) 森祖道 矢島浩志 矢島道彦 山口泰司 好井瑞皖 渡邊寶陽

東方学院後援会ご一同

ご寄付

川崎信定 石崎直樹 落合大祐 木村正子 木村理枝 肥沼田鶴子 小林和子 佐藤恭子 清水谷善圭 釈悟震 田中康子 千綿道人 中田直道 二宮庸子 比良竜虎 深澤哲也 福重利夫 福原正直 丸井浩 御園生妙子 宮本耕一 宗像利幸

東方学院創立50周年記念事業ご寄付

石上善應 石上源應

学院事業 50周年 創立

多くの方々の温かいご理解とご支援によりまして、公益財団法人中村元東方研究所は去る2020年11月、東方学院は2023年4月に、それぞれ創立50周年を迎えようとしております。そこで、来たる2023年度に東方研究所/東方学院の50周年を併せた記念誌の刊行および記念行事を予定しております。他方、新型コロナウイルスをめぐる難儀の世相におきまして、皆様厳しい状況を余儀なくしておられることと拝察し、同実行委員会では当該行事のための経費を最小限に抑えて遂行すべく事業の見直しを図っている現状でございます。このような世状にもかかわらず、中村元先生の御雄志の継承と存続のために、当該記念行事遂行にご賛同下さる方々からの御芳志を頂戴いたしましたこと深く御礼申し上げます。

東方学院 講師ご紹介

関戸 堯海 講師

(東京本校)

法華経と日蓮の 教えに導かれて



日蓮には『立正安国論』『観心本尊抄』などの五大部と呼ばれる主要著作があります。このなかでも、『開目抄』『撰時抄』『報恩抄』は長編の著作ですが、東方学院の講義でそれぞれ一年から二年をかけて、受講生とともにじっくりと拝読できました。このことは、私自身にとって貴重な財産となっております。これも、東方学院の講義を担当させて頂いているおかげと存じます。東方学院で講義することを勧め頂いた渡邊實陽先生に、NHK「こころをよむ法華経」などの講話において、難解で高度な法華経の思想を、わかりやすくお聞かせいただいたことが、一般の受講生に法華経と日蓮の思想を

話すことの基礎的な方向性となつたと思います。また、天台教学で涅槃経は、法華経と同味の醍醐味に位置づけられます。このため、日蓮と道元、そして親鸞の涅槃経引用について検討していた時期がありました。各師には南本あるいは北本の涅槃経をよりどころとしている特徴があります。そのため、大乘仏教思想、ことに涅槃経の思想的源流について調べる必要性が生じ、中村元先生はもとより、前田専學先生のご研究を学ばせていただきました。

昨今は、日蓮の身延期における書簡の内容を精査しており、その成果の一部をもとに、集中講義「日蓮の書簡を読む―身延山における日々の活動について―」を担当させて頂いております。



せきど ぎょうかい
1958年、東京都生まれ。立正大学大学院文学研究科博士課程満期退学。博士(文学)。立正大学仏教学部専任講師、身延山大学助教授。現在、妙幸寺住職。著書『日蓮聖人注法華経の研究』『元政上人草山要路』など。

林 隆嗣 講師

(東京本校)

学ぶ楽しさ、問う楽しさ

私は大学で仏教学に出会い、そこで世界と人間存在に関する緻密な分析に基づいて構築されたアビダルマの思想体系に魅了されました。そして、学んで知識を得る楽しさや疑問をもって突き詰めて考える楽しさをアビダルマ論師たちの学究的な態度から教えてもらいました。最初に踏み込んだところは、『俱舍論』を中心とした説一切有部の思想研究でした。けれども、先人が開拓してきた研究成果の量に圧倒され、また、現役の専門研究者たちによってさらに情報更新され続ける状況を見て、次第にこの分野における新機軸や発見の難しさと解釈の些末さに行き詰まりや迷いを感じていきなりました。そんなときに、森



祖道先生から

パーリ註釈文献研究の面白さを教えていただいたのがきっかけで、上座部仏教のアビダンマ思想やパーリ註釈文献の成立史の解明にのめり込み、今に至っています。本学院では「パーリ語入門」と「パーリ語文献購読」の講座を担当しています。購読の方では、『ジャータカ』の註釈を読んでいます。『ジャータカ』は、お釈迦様の前生での物語をまとめた説話集ですが、その註釈書には、過去仏の物語や、お釈迦様の誕生から出家、成道を経て祇園精舎の寄進までの過程を語る長い序文がつけられています。この仏伝部分を皆さんといっしょに読み進め、古代インドの自然風景、事物や文化や暮らしたの様子を浮き彫りにしながら当時の状況を考えたり、人々の感情や心理的な動きを想像したりして、発見に満ちたとても楽しい時間になっています。

はやし たかつぐ
東北大学文学部印度学仏教史学科卒、同大学院文学研究科博士課程満期退学。デリー大学文学部仏教学科博士課程修了(Ph.D.取得)。現在、こども教育宝仙大学教授。

東方学院
研究会員の声

濱川香雅里さん
(東京本校)

ヨーガを深めるためにも、インド哲学を学びたいと思い、前田専學先生の「インドの思想と文化」に通い始めました。

入学を許されてから十八年。「中村元の仏教入門」「インド人の思维方法」「東洋のこころ」「構造倫理講座」全三巻、「宗教における思索と実践」等々、本棚に並ぶ中村元博士のご著書が、学んだ歳月を表しています。

前田先生に教え導いていただく中で、「学び」とは、知識だけでなくその根底にある「慈しみの心」に触れる事でもあると知りました。その心はどのように育み、実践してゆくものなのか、学院の指針に示してあります。

真理を言葉と文字により師から学び、自分の内に落とし込んでゆくことで、日々の仕事や生活(行住坐臥)の中で具現化できるようになりたいと望んでいます。

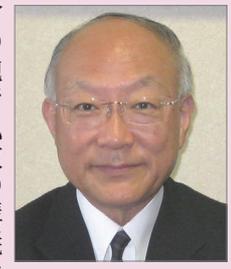
さらに、前田先生のご著書『インド哲学へのいざない ヴェーダとウパニシャッド』はヨーガ修行の道しるべとなっております。

先生は、中村元博士の学問の世界をバニヤンの大樹に重ねて表しておられます。その広い樹下の木陰で学ぶ機会を与えられています。開かれた学院に、より多くの仲間

が集い、バニヤンの林が更に広がりますことを心より願っております。



能美良也さん
(東京本校)



私の東方学院とのご縁は、中村元先生がまだご存命の頃、鎌倉鶴岡八幡宮での夏期宗教講座に参加しました時が最初でした。夏の一日、好きな鎌倉の地で仏教の講義を聞くことは私の楽しみのひとつでした。時は流れ、私も定期的な自由な時間が取りやすくなり、本学院の水野善文先生のサンスクリット語講座に通うようになりました。それから前田専學先生をはじめ、諸先生方の講座を受講し、前田先生の講座は八年目になるところでしたが、残念なことにこのコロナ禍で令和2年度は休講となりました。

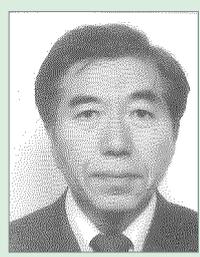
中村元先生の学院創設の理念は、真に学びたいと思う人がいれば、年齢・国籍を問わず誰もが自由に学ぶことができる場を設けよう、というたいへん崇高なものであったと思います。それは前田学院長もおっしゃっておりますように、仏教のお慈悲の心、すなわち慈しみと思いやりの心に繋がるものです。講義には仕事を終えて駆けつける方や遠方より通って来られる方、いろいろなお方がいらつしやいますが、皆さんとても熱心に取り組んでいらつしやいます。中村先生の目を細めて微笑んでいらつしやるお姿が目につかぶかのようです。諸先生方にも感謝を申し上げ、ますますの学院の発展を念ずるばかりです。

時を経て仏陀の教え受け継がれ

集いし人みな穏やかなりし

東方学院と私

森秀雄さん
(関西校)



今年度は講義のない残念な年になりました。西岡先生のチベット語の講義に参加して三十一年目のことです。すでに四半世紀を越えました。最初わずか生徒二人。そのために講義をしていたのは心苦しい限りでしたが、膝を突き合わせての姿勢に引き付けられました。これも中村先生の「二人でも学びたい人がいれば講義はできる」との信念にもとづくものです。十年後にチベット語対訳の「プラサンナパダー」を関西教室で出版の運びになりました。その頃には、チベット語を通して仏典の内容も理解できるようになり、学問の面白みが分かってきました。それ以後は、スンパの「仏教史年表」を前文・後文を含み、全文読破しました。なお、茨田先生のサンスクリットの場合は、私一人が生徒でした。また、パーリ語も、二年間学んだ後、すこし空白期間を経て再び継続して四年目になります。悲しいことに橋本先生は若くして数年前に亡くなられました。今でもたった三人での「スッタニパータ」の講義が懐かしく思い出されます。現今のパーリ語においては、平木先生は一人ずつの生徒に合わせた講義内容を三種類されています。この努力にはつくづく頭が下がります。私は「サーサナ・ヴァンサ」の訳を見たいだけ、毎回何かしらの発見があります。仏教学は、やればやるほど奥が深く、自分のふがいなさを感じると共に、真摯に取り組みたいとの意欲も湧いてきます。この学問に対する姿勢も中村先生の薫陶のおかげです。東方学院での様々な先生との出会いと信頼関係。感謝以外の何物もありません。まさしく仏縁というべきでしょうか。

研究員の声

袋井由布子専任研究員

インドにて

インドにいと古代美術に描かれた情景を目の当たりにすることがある。仏伝図の「白象降下」は、誕生前の釈迦が兜率天から白象の姿でこの世に降下する場面を描いたものだが、このエピソードを伝える経典はほとんど知られていないとされる。一方、南インドのヒンドゥー教寺院を訪ねると、神像を乗せた神輿を人々が担ぎ、賑やかな楽団に先導され練り歩くという場面にしばしば遭遇する(図)。その光景はまさに「白象降下」の場面そのものだ。先学の指摘にもあるように、「白象降下」は実際の行像のイメージが投影された美術上の表現であることが実感される。遙か昔のインド古代美術を理解する上で、現在のインドにおける人々の暮らし、伝統、習慣などがヒントを与えてくれる



南インド、ヒンドゥー教寺院の行像(カーンチープラム、エーカンパレーシュヴァアラ寺院にて)

ことは少なくない。

世界中でコロナ・ウイルスが蔓延する中、インドは三月二十五日、突然の全土封鎖に踏み切った。予告なしの全土封鎖で全ての交通手段の運行が停止、食料品などを買う必要最低限の外出のみが許可、学校への通学も職場への出勤も禁じられ、「ロックダウン」という聞き慣れない言葉が人々の間に飛び交った。二月末に現地調査のためインドへ渡り、日本へ帰国する一週間前の出来事である。

インドにおけるコロナ・ウイルス感染拡大の収束は未だ見えず、民間の国際線運航は停止したまま、現在もインド滞在が続いている。コロナ禍の現状において遺跡の調査は不可能であるが、予期せぬ長期滞在はインドの精神的雰囲気に触れるまたとない機会となった。この体験は今後の研究の糧になることだろう。その意味で、インド全土封鎖には感謝すべきと言わねばなるまい。

ふくろい ゆうこ

1967年生まれ。インド、マドラス大学にて博士号取得。現在、清泉女子大学、和光大学オープンカレッジ非常勤講師。著書に『インド、チャウラ朝の美術』(東信堂)など。

平野克典専任研究員

獨創性にオチを付ける

「女子高生が売春していると思うからいけないんだよ、年端もいかないうちが一生懸命勉強していると思えばさ、いじらしい話じやねえかい」。落語家立川談志の一言である。

研究の獨創性を述べなければならぬときが三、四年に一度やってくる。研究費を獲得するための申請書類を作成するときだ。獨創性ってなんだろうと思いつく書類に獨創性が宿るはずもなく、先行研究が明らかにしている点を解明するといった先駆性を強調していつもお茶を濁している。

獨創性は新奇さである。であれば、先駆性は獨創性ではない。新しさはあっても奇抜さに欠けるからだ。見方や手法の大幅な変更が研究内容の新奇さを産むのかね、というやはり獨創性のかからもない考え方で止まっていたとき、コロナが襲来し生活様式は一変した。たとえば、大学では対面授業から遠隔授業への変更を強いられる。

た。鉛筆からワープロに道具が変わっても作文内容に変化がなかったのと同様に、私の場合、授業方法の大幅な変更は授業内容に新奇さをもたらすことはなかった。

新しい面子を何を何枚も並べることがそれはそれで苦勞の多い作業だが、古びた一枚の面子を裏返しただけで新奇な裏絵を現し得ることを談志氏の言は示している。獨創性といった抽象的な概念に振り回され複雑に考えてきたが、単純さこそが新奇さをもたらす要点かもしれない。「新しい生活様式」のなか呑気に落語家の言葉に触れ、獨創性に単純なオチを付けることはできたが、申請書類にはオチが付かないことを祈りつつコロナ第三波を過ぎている。



写本調査で訪れたベナレスの大学。碩学 Gopinath Kaviraj 博士の石像横にて。

ひらの かつのり

1970年生まれ。東洋大学文学部印度哲学科卒、名古屋大学大学院文学研究科東洋哲学専攻インド哲学専門前期・後期課程修了、博士(文学)。名古屋大学大学院グローバルCOE特任助教を経て、2016年4月より現職。単著にNyāya-Vaiśeṣika Philosophy and Text Science (2011, Motilal Banarsidass)がある。

新型コロナウイルス感染防止のための

2020年度諸行事の中止および施行

(2020年10月10日)

当法人では、新型コロナウイルス完成拡大防止のため、三密つまり「密集」、「密閉」、「密接」の可能性のある2020年の諸行事をすべて中止いたしました。当該の経緯および年度内の予定につき左記のとおり報告いたします。

【略号：◇新型コロナウイルス関係、●法人関係】

◇2020年11月8日 世界のCOVID-19感染者数が五千万人を超える

●2020年11月 東方学院酬仏恩講演会開催中止

●2020年11月12日 第7回運営委員会にて「新春研究発表会」のWEB開催決定

◇新型コロナウイルス感染者数国内15万人を超える

●2020年12月17日 第8回運営委員会開催

●2020年12月18日 『2021年度東方学院受講の手びき』完成。学院ホームページにて一部オンライン講義を含むシラバス公開開始

●2021年1月7日 2021年度東方学院受講申し込み開始

●2021年1月14日 第9回運営委員会開催 (予定)

●2021年1月15日 『東方だより』37号完成

●2021年2月4日 第10回運営委員会開催 (予定)

●2021年2月9日 第18回理事会開催 (予定)

●2021年2月16日 令和2年度新春研究発表会開催 (予定)

●2021年2月25日 第18回評議員会開催 (予定)

●2021年3月4日 第11回運営委員会開催 (予定)

●2021年3月12日 研究紀要『東方』36号完成 (予定)

オンライン会議ソフトZOOM簡単解説

—WEB講演会・オンライン授業参加のために

〈事前にご準備いただくもの〉

◎インターネットにつながる、PC、スマートフォン、タブレットなどがあればどなたでも参加できます。

※インターネットは、フリーWiFiではなく、契約したWiFiの使用を推奨します。



《PCの場合》

・ZOOMのインストールは無料で無料です。

・事務局から連絡されたその講義の「URL」をクリックすると、自動的にZOOMソフトのダウンロードが開始しますので、指示に従って氏名などの入力を進めてください。(詳細のプロセスについては、図入りのマニュアルをお送りいたします。)

《スマートフォンの場合》

・事前にアプリをインストールしていただきます。「App Store」や「Google Play」の「ZOOM」と検索すると出っぴの「ZOOM Cloud Meetings」を入手してください。(インストールは無料です)。

・事務局から連絡された、その講義の「ミーティングID」と「パスワード」と「お名前」を入力し、「参加」をクリックすれば、視聴できます。(詳細のプロセスについては、図入りのマニュアルをお送りいたします。)

★本番の講演会や授業の前に、事務局と「試運転」を実施しますのでご安心ください。ご不安の点がございましたらご遠慮なく、事務局までお問い合わせくださいませ。

令和2年度新春研究発表会WEB開催のお知らせ

来る2021年2月16日(火)午後4時〜午後6時30分に、令和2年度新春研究発表会を開催することとなりました。オンライン会議ソフトZOOMを使用したWEB開催です。各位のご参加をお待ち申し上げます。

講師一 澤田彰宏氏(拓殖大学講師)

演題 「ヒンドゥー教のチャイタニヤ派の寺院の組織と運営
―北インドのヴリンダーヴァンでの調査から―」

講師二 渡邊章悟氏(東洋大学教授)

演題 「般若の智慧と大乘の転法輪」

〈新春会講演会へのお申込み方法〉

東方学院の事務局のメールアドレス info@tohoku.or.jp宛に、必ずメールにて

①ご氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④ご視聴者様人数
をご記載にてお申込みください。

お申込みメールが到着次第に、受付番号とアクセスに関する諸般をメールにてお知らせいたします。

また、開催日が近づきましたら、URL、ID、パスワード、講演資料などをお送りいたします。

※ZOOMソフト(アプリ)は、インターネットのつながるパソコンやスマートフォンなどをお持ちであれば、比較的簡単に視聴することができます。はじめての方は、事務局から使用方法を懇切にご案内申し上げますので、お気軽にお問い合わせくださいませ。

2021年度東方学院「受講の手引き」

配布開始のお知らせ

2021年4月から開催される新年度の「東方学院受講の手引き」が完成いたしました。

教室での対面受講につきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策(受講人数の制限・マスク・消毒薬・アクリルパーティション等)を整え、他方「オンライン講義」も一部に導入したシラバスを東方学院ホームページでも公開いたしましたのでご案内申し上げます。お申込み受付は2021年1月7日から開始しております。

〈東方学院のお申込み方法〉

①『受講の手引き』と同じ込みの「受講申込書」(または、東方学院ホームページからダウンロードした「受講申込書」)に必要な事項を記載し、事務局宛送付。

②受講の手引き」とじ込みの(または、郵便局においてある)「振込用紙(青)」に必要な事項をご記載の上、

事務局(または入会金) + 受講料をお振込み。

①②が到着後、順次に東方学院から「受講票」をお送りいたします。

※オンライン講義お申込みの方はメールアドレスが必須です。

受講の仕方の詳細につきましてはお申込みの方に個別にご案内申し上げます。



事務局通信

【編集部より】 東方だよりは、読者の皆様からのご意見・ご要望をいただき、よりよい誌面にしていく所存です。また、ご寄稿もお待ちしております。尚、ご連絡は手紙（宛名面に「東方だより編集部宛」とご記入願います）にて承っております。

当研究所の活動にご賛同下さる皆様へお願い

公益財団法人中村元東方研究所は、創立者中村元の理想を実現するため活動する非営利の文化事業財団であり、その運営はご理解ご協力いただける皆様からのご寄付により成り立っています。当研究所では各種会員を設定して、活動趣旨にご賛同いただける皆さまの積極的なご支援をお願いしております。

(1) 一般寄付

一般寄付は会費と異なり、金額や期限等を設定せずに、随時受け付けさせていただいております。お寄せいただいた寄付金は、当法人が取り組んでいるさまざまな活動に広く活用させていただきます。

(2) 継続ご支援（維持会員・賛助会員）

当法人の活動に賛同し、継続的に支援して下さる会員も随時募集しています。

- ・維持会費：一口 年 50,000 円
- ・賛助会費：一口 年 10,000 円

※上記いずれかをお選びいただき、出来れば複数口でご支援賜れば幸いです。

(3) 普通会員：年会費 7,000 円

普通会員にも、維持・賛助両会員と同じく、定期刊行物『東方』の他、催し物、会合等のご案内をお送りいたしますが、年会費に税の優遇措置は適用されません。

【所得税の免税について】

当法人は内閣府の認定を受けた「公益財団法人」であり、さらに、令和2年3月27日に「税額控除」対象法人の要件を満たす証明書を内閣府より受けましたので、上記（1）（2）の一般ご寄付及び維持会賛助会の会費は、税制上の優遇措置を受けられます。①「所得控除」②「税額控除」のいずれか減税効果の高い方を選択できます。

多くの場合、「税額控除」を選択されると所得税額が少なくなり有利となります。一方、所得税率の高い方は、「所得控除」を選ばれると還付額が大きくなる場合もあります。確定申告の際には最寄りの税務署にご相談ください。

公式ホームページのご案内

東方研究所及び東方学院の公式ホームページでは、さまざまな情報が随時更新されております。是非ご覧下さい。

ホームページ URL : <http://www.toho.or.jp>

- ▶当研究所の目的・理念・あゆみ
- ▶中村元博士の略歴・著作文献目録
- ▶東方学院（開講科目、講師紹介、著書紹介）
- ▶専任研究員紹介、書籍案内
- ▶公開講座、イベントのお知らせや開催レポートなど

東方学院専用ホームページ URL :

<https://www.toho-gakuin.org>

（スマートフォン対応）

- ▶東方学院の開講科目や講師の紹介、開講日などをご案内しております。

東方だより 令和2年度 後期号（通号第37号）

令和3年1月20日発行

【編集 / 発行】 公益財団法人中村元東方研究所 本部事務局（東京）

編集責任者：釈悟震

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2 延寿お茶の水ビル 4階

TEL : 03-3251-4081 FAX : 03-3251-4082